〇〇大学大学院〇〇研究科

〇〇先生

突然のご連絡で大変恐縮と存じますが、かく　豆豆（カク　トウトウ）と申します。出身地は中国の内モンゴルです。伊藤先生の研究論文を拝見し、または中国人の先輩から先生の研究内容をお聞きまして、先生の研究内容に興味を抱きましたので、ご連絡をさせて頂きました。

先生はメディア戦略や消費行動の研究　「受け手がインターネット広告の考え方に及ぼす影響―YouTuberを中心に考察する―」というテーマで研究計画書を準備しており、来年4月より、貴大学の国際広報メディア・観光学院修士課程に進学し、その研究テーマについてより深く研究したい、可能であれば是非先生のご指導の下で研究を行いたいと考えております。

私は大連民族大学の日本語学科に入学して、大学4年生の時に広島大学の教育学部で一年間留学しました。そして、2019年6月に大学を卒業して、8月から名古屋で仕事をし始めました。現在は三菱グループの関係会社の社員です。今は社会人ですが、メディアと広報が好きで、自らそれについて勉強しています。そして、メディアの世界では物事は複雑で簡単に善悪を分けられない、事象を複眼的に見る必要があると感じています。

実は、11月頃に貴大学の大学院入試説明会を参加しました。その時、一度先生の顔を拝見しましたが、先生の担当グループは研究テーマ未定の大学院の志望者のため設定したため、研究内容ついては先生に話かけませんでした。先輩から先生の研究内容をお聞きしたことがある。

ご都合の良いときに返信していただけないでしょうか。

メディアに関する専攻では、北大の国際広報メディアは常に日本国内のトップだと評価されています。

本学院の特徴の1つに、教員と院生の距離の近さがあります。